

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	胸壁・鎖骨上窩照射における表皮剥離予防を目的としたカテリープラス®使用症例の皮膚状態および患者の苦痛に関する検討
研究責任者	外来看護課 杉村恭子
研究実施体制	聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2027 年 2 月末
対象者	2026 年 1 月から 2026 年 7 月までの間に聖隷浜松病院放射線治療センターにおいて乳癌に対する胸壁照射(鎖骨上窩照射を含む)を受け、表皮剥離予防を目的としてカテリープラス®を貼付した患者。
研究の意義・目的	放射線治療では、治療を受けた部分の皮膚発赤、痛みやかゆみ、表皮剥離が起こることがあります。特に乳房の下や脇など、皮膚がこすれやすい部分では症状が強くなることもあり、日常生活に影響が出る場合もあります。このような皮膚トラブルを予防するため、皮膚を保護するフィルム(カテリープラス®)を使用することがあります。しかし、その効果については十分に明らかになっていません。この研究では、カテリープラス®を使用した患者さんの診療記録や皮膚の写真、皮膚の状態の評価、治療期間中の痛みや日常生活への影響などを振り返って調べます。これにより、皮膚トラブルの予防や症状の軽減に役立つかを明らかにし、今後のより良いケアにつなげることを目的としています。
研究の方法	この研究では、診療録(カルテ)や治療中に撮影した皮膚の写真を用いて調査を行います。調査する内容は、年齢や病気のこと、放射線治療の内容(照射した部位や線量、回数、抗がん剤治療の有無)、カテリープラス®を使用した時期や期間です。また、皮膚状態、治療中の痛みや不快感、着替えや入浴、睡眠、腕の動かしやすさ、衣服とのこすれなど、日常生活への影響について、診療録に記録されている内容を調査します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 外来看護課 (氏名)杉村恭子 TEL:053-474-2222(代表) 腫瘍放射線科外来 9:00～17:00 平日